

垂水市

水之上地区公民館

～住民の力を合わせた活動で、住みよい地域を目指す～

団体の紹介・活動の目的

水之上地区公民館では、「三和づくり計画」に基づき、個人・団体が連携して、水之上ならではのまちづくりを推進しています。(世帯数839世帯、人口1,747人(平成26年10月31日現在。))

平成23年度に市の総合計画に基づく地域振興計画「三和づくり計画」の策定に取り組みました。現在は、同計画に基づく行動計画を推進し、食をテーマにしたイベント「水之上生活笑楽校(しょうがっこう)」による交流促進や、「菜の花ロード」などフラワーロードの整備も進めています。また、これまで取り組んできた地域行事を住民間で議論を尽くして見直すなど、より住みよい水之上を目指して活動を続けています。



① 三和づくり計画策定委員会(平成23年9月)の様子。委員会の話し合いは12回に及び、作り上げた計画を現在実行に移し、成果をあげています。



③ 人気の観光スポット「垂水千本イチヨウ」は水之上地区にあります。約4.5haの広大な園地を地域ぐるみで手入れをする取組がスタートしました。三和づくりへ着実に広がっています。

活動の内容

本城川の草払いとボランティアで継続したり、伝統行事「おんだんころ祭り」を関係機関と協力して開催する一方、新たな観光スポットとなっている垂水千本イチヨウを園主と地区内の組織・団体が一体となって手入れを行うなど、地域特性や社会資源を活かした地域振興を図っています。

また、平成25年度には過疎集落等自立再生対策事業(総務省)を導入し、「三和づくり計画」に基づくフラワーロードの拡大や公民館駐車場舗装による住民の安全確保、観光・防災マップの作成等を行い、地区の思いがひとつずつ実現しています。



② 年に1回水之上生活笑楽校(一品持ち寄り形式の食事会)を開催。県外参加者もあり、家庭料理等を楽しみながら水之上の将来や希望、課題などを語り合います。



④ 菜の花ロードの取組。館内に事務局をもつ三和営農組合が中心となり、普通期水稲収穫後の田や市道沿い約2.4haに菜の花を植栽し、菜種油を収穫します。2月中旬には見頃を迎えます。
昨年の状況(平成26年3月11日)

| 平成26年度 鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体表彰 | NPO部門 **優秀賞**

伊仙町

NPO法人 徳之島虹の会

～徳之島の美しく豊かな自然を未来に伝える島民活動～

団体の紹介・活動の目的

徳之島の自然や農業、伝統文化、子育て支援などに携わってきた島人が集い、2011年に設立しました。現在会員65名で、島民や子どもたちと共に徳之島を知り、感じ、楽しみ、深め、分かち合い、大切に、伝える虹色(七つ)の活動を行っています。

徳之島島民、主に子どもたちに対して、島の宝(子育て環境、食、長寿、伝統文化、自然)の魅力と知識の普及を図り、地域社会の健全な発展および生活と文化の向上に寄与することを目的としています。

活動の内容

環境保全活動や青少年健全育成活動を中心に、ボランティア清掃や各分野の専門家を招いた勉強会、希少動植物の調査やパトロール、子どもたちとの自然体験活動、そして、島の歴史や文化、自然と触れ合うエコツアーなどに取り組んでいます。

①



ウミガメの産卵で知られる海岸での清掃の様子です。約120人が参加し、鉄杭や養殖網、木片、ペットボトル、空ビンなど、2トトラック16台分のゴミを回収しました。

②



全島各種団体の協力を得て約250人が参加し、ドライバーや買い物客を対象に、希少動植物の盗掘防止や不法投棄・ポイ捨て防止等の街頭キャンペーンを行いました。

③



森林に生息する希少動植物調査やパトロールなどを定期的に行っています。動植物の盗掘・盗採や不法投棄、自然環境の変化などに注意を払って行っています。

④



徳之島の自然保護に対する意識の醸成を図るため、希少動植物について詳しい専門家を招き、徳之島の美しく豊かな自然を未来につなぐシンポジウムを実施しました。